

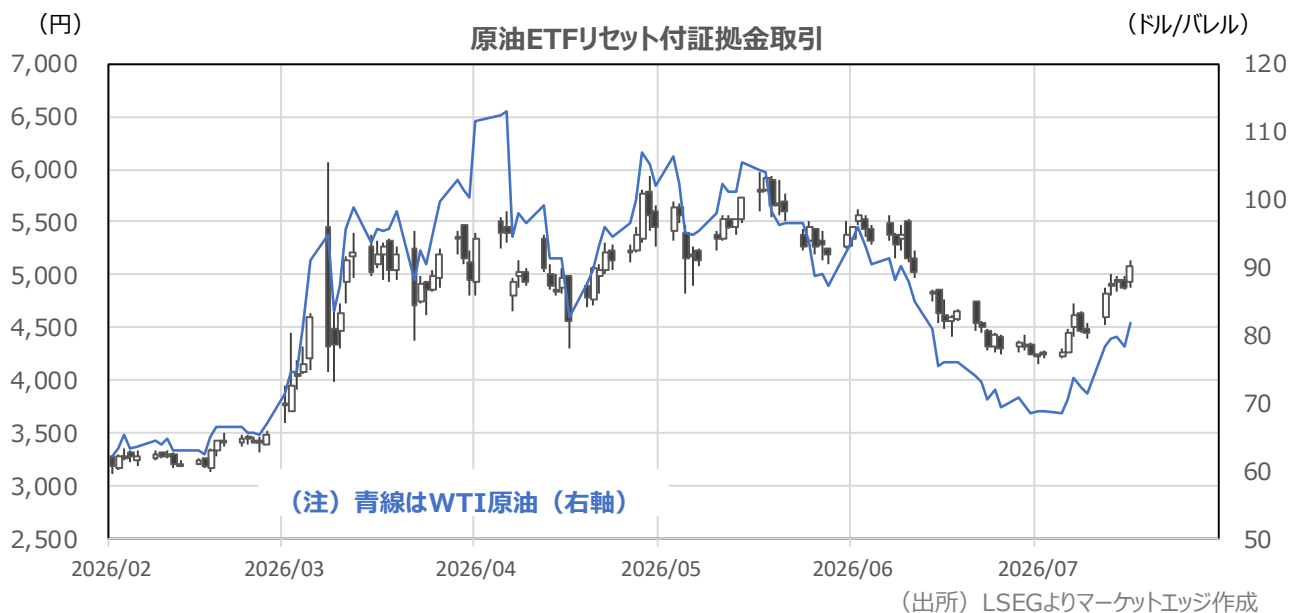
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/07/21号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



中東情勢の緊迫で80ドル台回復

NY原油先物相場は、1バレル=81ドル台後半まで値上がりし、6月15日以来の高値を更新した。米国とイランの対立激化が警戒され、供給不安を織り込む動きが優勢になった。ホルムズ海峡でイランが船舶に対して攻撃を行ったことをきっかけに、米国とイランの間では攻撃の応酬が行われている。この影響でホルムズ海峡のタンカー通航数が大きく落ち込んでおり、改めて供給・流通環境の悪化が原油相場の反発を促した。トランプ米大統領はイランとの交渉に意欲を示す発言も行っているが、先行き不透明感の高まりが原油相場の安値修正を促している。

イランがホルムズ海峡の封鎖を表明したのに対して、米国はイラン関連タンカーの出入りを規制する方針を示した。すでにイラン産原油に対する制裁を復活させているが、さらに物理的にもイラン産原油の海上輸送を制限することになる。また、戦闘状態ではイラン以外の船舶もホルムズ海峡の通航を見合わせやすくなり、供給量の減少圧力が、原油相場の安値修正に直結した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（7月10日時点）は、原油が前週比169万バレル減、ガソリンが153万バレル減、石油精製品が456万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

中東情勢の混乱中は上振れリスク、不安定な地合が続く

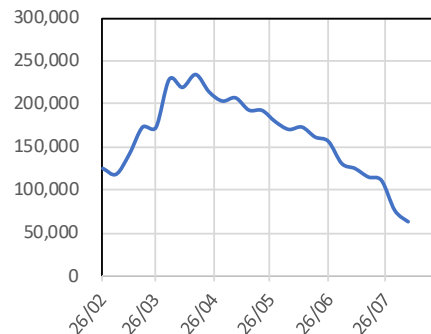
中東情勢に強く左右される地合になる。前週は米国とイランとの間で攻撃の応酬が続いたことが、原油相場を押し上げた。戦闘状態ではホルムズ海峡の船舶航行は困難になり、回復傾向にあった供給量の大幅な落ち込みは避けられない。今週も攻撃の応酬が続き、湾岸諸国からの原油輸出が停滞すれば、原油相場の一段高は避けられない状況になる。80ドルを上抜いたことで、85ドルに迫る可能性もある。

特に注意が必要なのは、イランがイエメンの武装組織フーシ派を通じてバブ・エル・マンデブ海峡を攻撃する可能性も浮上していることだ。米軍がイランの電力インフラなどを攻撃した場合には、フーシ派が同海峡を攻撃する可能性が高まっている。サウジアラビアは、ホルムズ海峡を回避するため、紅海側からの輸出を強化している。バブ・エル・マンデブ海峡は日量700万バレル強の原油が流通しているとみられるだけに、ホルムズ海峡に加えて同海峡からの供給も滞ると、国際原油市場に与えるインパクトは大きく、一気に90ドルに迫る可能性もある。

一方、トランプ米大統領はイランとの協議にも意欲を示している。真偽は不明だが、イランから協議の要請があったとも発言している。米国とイランの攻撃の応酬が一服し、両国が何らかの協議を実施できる状況になると、供給不安の織り込みが一服し、70ドル台前半から中盤まで急反落する可能性がある。

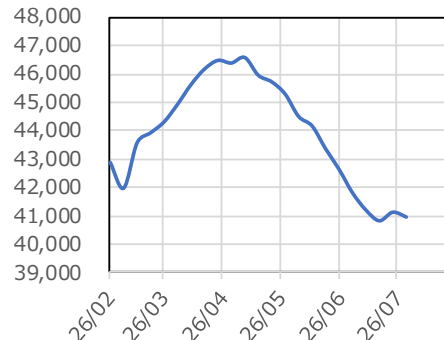
中東情勢次第で、上下双方に大きく揺れ動く可能性が高い不安定な地合が想定される。米国とイランがどのような着地点を描くのか、政治的な判断に依存する。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



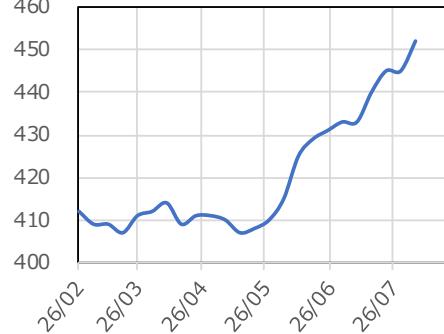
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

